

もつと語ろう。明日の稚内を一緒に創ろう。

支える、役立つ、頼りになる存在に

平成二十二年第一回定例道議会にて、自民党、道民会議の吉田正人、道議が約一時間に及び代表質問に立ちました。道予算をはじめ道政上の諸課題を取り上げ、建設的な提言を交えて堂々の論陣を張りました。わが国や北海道の将来から地元稚内市の懸案事項まで、問題を的確にとらえて深く掘り下げた日々の研鑽が実ったもので、その主張は多くの賛同を得ました。二期目の集大成の年とあり、吉田道議は全力で走り回っています。

平成二十二年第一回定例道議会で代表質問

## 知事、教育長が北教組問題で遺憾を表明

二月二十三日招集された平成二十二年第一回定例道議会にて、吉田正人議員は、自民党・道民会議を代表して質問に立ち、知事への政治姿勢、財政運営、地球温暖化対策、経済政策、農業問題などを取り上げ、知事・道警本部部長の対応をたどりました。特に、教育問題では北教組の政治活動を厳しく追及し、役員の逮捕、違法な組合活動、国旗・国歌問題などで知事・教育長の見解を求めました。

吉田道議の質問項目は次の通りです。

## 一、知事の政治姿勢について

## 二、道政上の諸課題について

- 1、財政運営に関する認識について
  - 2、財政健全化への取り組みについて
  - 3、今後の行財政改革の取り組みについて
  - (一)札幌医科大学の整備について
  - 1、入学定員について
  - 2、施設整備について
  - (二)道立試験研究機関の地方独立行政法
  - (八)タ張市への支援について
  - (九)地球温暖化推進計画について
  - (十)アイヌ政策について
  - (十一)保健福祉問題について
  - 1、小児救急医療体制の整備について
  - 2、障害者施策について
  - (十二)経済政策について
  - 1、経済活性化戦略ビジョンの評価などについて
  - 2、本道経済産業の成長力強化について
  - (十三)食クラスターについて
  - (十四)雇用対策について

北海道議会議員  
道議会水産林務常任委員会副委員長

吉田正人さん

## 私 の 決 意

踏み出す一歩が未来につながる

皆さまにはお変わりなく、ますますご健勝で活躍のこ  
ととお喜び申し上げます。



行動しています。

一次産業の漁業・酪農や水産加工業の振興、観光資源の再発見と魅力ある観光地づくり、稚内空港の安定的な就航、サハリン州との経済交流の推進、医療や保健予防の充実や高齢者支援など稚内市の諸課題の解決に向け、道政与党の一人として道議会で精一杯頑張ります。

さて、「政治とカネ」の問題や政策の矛盾が続出る現内閣・与党には、もう政権を委ねるわけにはいきません。今夏の参議院議員選挙で本道の一議席を死守し、余勢をかって来年の統一地方選に勝利して、活力であふれる北海道やふるさと・稚内を創り上げようと固く決意しています。

今後とも皆さまの変わらぬお力添えをお願いいたします。

北海道議會議員  
道議会水産林務常任委員会副委員長

吉田 正人

ご入会をお待ちしています。

**吉田正人**  
連合後援会

〒097-0021 稚内市港1丁目4番2号  
(自由会館1F)  
**TEL (0162) 24-4351**  
**FAX (0162) 24-0779**  
連合後援会長 **安藤善則**



### 三、教育問題について

- 5、学校運営などについて
- (一) 不祥事の防止対策について
- (二) 本年の取り組みについて
- 四、公安問題について**
- (一) 不祥事の防止対策について
- (二) 本年の取り組みについて
- (一) 教育行政執行方針について
- (二) 学力向上対策について
- 1、全国学力テストへの参加について
- 2、結果の公表について
- (三) 道徳教育について

#### 四、公安問題について

- (二)不祥事の防止対策について

# 自由民主

LIBERAL &amp; DEMOCRATIC



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.or.jp/>

平成22年5月4日(火曜日)発行 〈号 外〉

稚肉市販

<http://www.yoshida-masato.com/>



## 北教組問題調査団が 自民党・道民会議と 意見交換



### 勤務時間内の組合活動や 偏向教育の実態を説明

北海道教職員組合(北教組)から民主党議員に違法な選挙資金が提供された事件で、自民党の北教組問題に関する調査団が2月18日来道し、現地調査を行いました。

調査にあたったのは党文部科学部会長の義家弘介参院議員、衆院文部科学委員会筆頭理事の馳浩衆院議員、党国対副委員長の北村茂男衆院議員の3人です。道議会自民党・道民会議との意見交換には見延順章議員会長をはじめ、吉田正人、布川義治、柿木克弘、山本雅紀、中司哲雄、藤沢澄雄、中村裕之各議員が出席。北教組の活動状況や教職員と選挙運動のかかわりなどを調査団に説明しました。この中で、道議会側からは、北教組が自主編成教材を使用した偏向教育や日常的に学校施設を使って勤務時間内に組合活動を行っている証拠などが示されました。

また、調査団は高橋教一道教育長と北教組の活動状況について意見交換したのをはじめ、地域PTA役員、教職員から地元の実情を聞きました。北教組側にも面会を申し入れましたが、多忙を理由に拒否されました。

### 吉田正人道議のプロフィール



昭和35年7月13日稚内市生まれ。東海大学海洋学部水産学科増殖科卒。会社員、稚内青年会議所副理事長などを経て、平成13年12月、父政一道議(議長など歴任)の急逝に伴い道議会議員補欠選挙に出馬し惜敗。同15年4月の再挑戦で初当選、現在2期目。その間、道議会水産林務常任委員、同総合開発特別委員、同議会運営委員、党道連政務調査会委員、道議会自民党・道民会議水産議員連盟事務局、道議会総合企画常任委員会理事、同食と観光対策特別委員、同議会運営委員会筆頭理事、自民党道連常任総務、同組織副委員長。現在、道議会水産林務常任副委員長、同北方領土特別委員会理事、北海道都市計画審議会委員。



道議会北方領土対策特別委員会理事として根室市で意見交換



道政与党として道の理事者から適宜報告を受け、問題を協議



水産林務副委員長として高知県の製材工場を視察



議会開会中は連日会派の勉強会

### 平成二十二年道予算

## 一般会計は二兆八千八百八十一億円 「食クラスター」構想を本格展開

道の平成二十二年当初予算は一般会計が二兆八千八百八十一億円で、前年度当初比二・〇％減少になりました。政

配置します。経済対策では、道産食品を軸に産業振興を図る

「食クラスター」構想を推進する連絡協議会を設置し、「可能性の高い新商品を地域ごとに開発し、本格展開していく」主な事業をみると、雇用対策は二十一年度の二倍以上になる二百五十億円を計上。中高年の再就職を支援するための相談窓口を開設するほか、高卒者の就職難を改善するため、道内八カ所の教育局に求人開拓を担当する職員を行う方針です。

また、「北のおさかな」消費拡大推進事業、北の海めぐみ食育推進事業などを新たに展開し、「食」の地産地消に向けた愛食運動や食育の一層の推進を行う方針です。

### 地域航空活性化PT

## 吉田正人道議が幹事長に就任

### 地方空港や離島路線の活性化など検討

道内の地域航空をさらに活性化させる方途を探ろうと、地域航空活性化PT(プロジェクト)が三月十二日設立され、地元稚内空港や離島航路を抱える吉田正人道議が幹事長に就任しました。

こうしたことから、道内の地域航空を活性化させ、HACの必要性、丘珠空港の利用促進、地方空港の活性化、離島路線の維持などの懸案事項の対応策を検討するとともに、航空政策をさらに充実させようとPTを立ち上げることにしました。

地域航空は広域観光の促進やビジネスチャンスの拡大など、道内各地域が均衡ある発展を目指すための有効な手段として重要な役割を担っています。しかし、利用客の低迷が続

き、JAL(日本航空)がHAC(北海道エアシステム)に対する出資の引き上げを決めるなど、大きな岐路に立たされています。



役員には相談役に清水誠一道議(帯広市)、顧問に川尻秀之道議(函館市)、会長に加藤礼一道議(旭川市)、幹事長に吉田正人道議(稚内市)が就任しました。吉田道議は「地域航空は地域振興や住民生活の利便向上のために、欠かすことができません」と語り、発展策を打ち出していきたい考えです。